

R 元夢授業 1月29日（水）パティシエ フラッグス： 田中文博さん

- ・手先が器用な人が向いていると思っていたが、「コミュニケーション力が必要」と聞いて驚いた。
- ・「手書きには温かさが出る」という言葉を聞いて、人間よりも機械の方が効率よく素早くできるけど、手書きには気持ちがこもっているから手書きを使うことにしているのはいいなと思った。
- ・どんなに成功している人でも「やめたいと思ったことがある。」ということにびっくりした。
- ・お客さんの喜ぶ顔を見て、思わずにやけてしまうって素敵だと思った。
- ・田中さんは、もともとパティシエを目指していたのではなく、ケーキを食べた時の気持ちがきっかけでパティシエを目指したということを知り、自分も夢がかわるのかなと考えさせられた。
- ・始めは売れなかったけれど、そこであきらめないでどうしたら続けられるかを考えていたというところが心に残った。



R 元夢授業 2月4日（火）宇都宮動物園園長： 荒井文博さん



- ・飼育員として「死ぬまで飼う」覚悟が必要で、動物との関係が良いことが大切だということが分かった。
- ・「動物との信頼関係がないと育てたりできない。」と聞いて、すごい努力をして仕事をしているのだなと思った。
- ・思っていた以上に飼育員は大変な仕事だと思った。
- ・動物を飼う時に面倒を見るなら責任をもって飼うという話を聞いて「その通りだな。」と思った。
- ・動物の命の大切さ、世話をすることの難しさが分かった。動物のことを育てるのはどれだけ責任重大で大変で難しいかが分かった。
- ・動物を飼育することはとても大変で、けがをすることもあることを知った。大変な仕事だが、育てている動物が成長していくのを見るのが楽しそうだ。
- ・ゾウとゾウ使いの話を聞いて、ゾウ使いは本当にすごいなと思った。わたしも愛犬とそのような関係になりたいなと思った。やはり動物に関わる仕事がしたいと思った。
- ・キリンの出産の動画を見た時、とても驚いた。「えっ」と衝撃だったが、すごいと思った。
- ・飼育員になるために大切なことは、①健康管理 ②好奇心をもつこと ③英語ができるとよいことの3つだそう。本などが英語で書かれているものが多いとのことで、英語ができることも大切なことがびっくりだった。

ピアニスト：五月女さん



- ・いろいろな実験をしながら学べたので，すごくよかった。
- ・ピアノの弦がとても硬くて驚いた。
- ・1番おもしろいと思ったのは，中の仕組みを見たこと。ピアノの仕組みは「てこ」を利用しているのかな？と思って聞いてみたら，調律師さんが「そうだよ。」と言ってくれた。
- ・調律師って初めて聞く職業で，正直ピアニストのお手伝いみたいな人かと思っていたら，よっぽど大事な仕事なのだと学んだ。
- ・調律師さんは音を聴き分けてすごいと思った。
- ・調律師さんは，簡単そうに見えて，意外と力が必要らしいので，力のある人がなりやすいのだと思った。
- ・少しのずれでもピアノはいい音が出せないなので，調律師さんは大変だなと思った。
- ・ピアニストの方がとてもうまく，ピアノを5歳のころから一生懸命練習することで，うまくなれるのだと思った。
- ・とてもピアノがきれいでびっくりした。やわらかい音が特にきれいだった。
- ・ピアノが弾んだように聞こえるのになめらかで感動した。
- ・ピアノは，弾き方によって全然聞こえ方が変わるのだと思った。
- ・ピアノは弾く人によって音が変わることを知って，みんな全く同じに弾いていたと思っていたので，よく聴いた方がいいなと思った。



- ・声の聞き取りやすさにびっくりした。
- ・話すのがとても上手で「さすがアナウンサーだな。」と思った。
- ・アナウンサーはとても目立つ仕事だと思っていたが、実は縁の下のような存在だと聞いて驚いた。一緒に出演している芸人さんやレポートしているお店などを目立たせるように、考えながら会話するのはすごいと思った。
- ・元田さんの話を聞いて、「やる前に決めるのではなく、やった後に決める。」という言葉が心に残った。
- ・10回以上面接に失敗した話を聞いて、僕が面接を受けるときも自分の思っていることや自分のやりたいことを伝えることが大事なのだとことを学んだ。
- ・相手に好かれようとして面接で話していたらダメだったけれど、自分の気持ちをしっかり話すことが大切だという話をきいて、自分の意見をしっかり話したいと思った。
- ・「これ将来に役に立つのかな？」と思う授業もあるけど、面接の時にいきなり歌を歌うように指示された話を聞いて、今学んでいることが何かしらの形で生かされるかもしれないので、ちゃんと授業を受けようと思った。
- ・アナウンサーの仕事は、ほとんどしゃべっていることだと思っていたけど、準備が8割だと聞いたときは衝撃的だった。
- ・アナウンサーは話をするだけだと思っていたけど、聞く仕事だと聞いて驚いた。
- ・アナウンサーは、常に冷静にしていなくて見ている人もあわててしまったりするから「冷静」が大切なのだと考えた。
- ・アナウンサーは活舌がよく、人前で何かをするのが得意な人が向いているのかなと思っていたけど、違くて、好奇心が必要なのだと知って驚いた。
- ・今日一番心に残っている言葉は「どんな些細なことでもいいから、好きと思う気持ちを忘れない。」という言葉だ。

R 元夢授業 2月14日（金）元全日本男子バレーボール選手 福島政則さん



- ・身長が大きいのでびっくりした。靴のサイズも31cmと大きくてとてもびっくりした。
- ・人を集めて校長先生に「バレーボール部を作ってください。」とお願いしたのがすごいなと思った。私は担任の先生にだったら言えるけど、さすがに校長先生には無理なので、私もいろんな人と話せるようになりたいと思った。
- ・私は今、特に将来の夢が決まっていないので、好きなことを見つけられたらいいなと思った。
- ・スポーツの世界は、自分に対しての甘さが許されなくて、食事制限や病気になっても薬を飲めないのは厳しい世界なんだと思った。でも続けられるのは、達成感があったりそのスポーツが好きだったりしたからだと思った。
- ・選手に選ばれるには、相当の苦労が必要なんだなと思った。運動能力の他にも自己管理能力も必要ということを学んで他の仕事にも生きると思うので、私も自己管理能力を高めたいと思った。
- ・試合の時は、相手に勝つ前に自分に負けないことが大切だということを知った。
- ・スポーツ選手は負けず嫌いな人が向いているとおっしゃっていて、自分はかなり負けず嫌いなので、スポーツ選手に向いているのかなと思って嬉しかった。
- ・好きなことを見つけ、目標を決めて、目標を達成するための方法を考えることは大切なことだと分かった。
- ・スポーツは厳しい世界なんだと思った。僕はスポーツ選手を目指しているので、負けない気持ちと自分で「限界だ。」と決めてはいけないということを学んだ。
- ・限界は何回でも超えられることを知った。
- ・福島さんが言った言葉で印象に残っているのは「日頃1日1日が人生をかけている。」「自分に負けない。」「自分の限界を超える」だ。全てが自分に言われていたと思った。